

2008年3月期決算説明会

2008年5月12日
株式会社電通国際情報サービス

AGENDA

第1部 2008年3月期決算概況および 2009年3月期業績予想

取締役
上原 伸夫

第2部 新中期経営計画について

代表取締役社長最高執行責任者
水野 紘一

第1部

2008年3月期決算概況および 2009年3月期業績予想

取締役
上原 伸夫

I. 2008年3月期 決算概況

II. 2009年3月期 業績予想

1. 2008年3月期 決算概況

売上高 (連結)

77,311百万円

前期比 +2,140百万円 102.8%
予想比(*) ▲130百万円 99.8%

営業利益 (連結)

4,694百万円

前期比 +1,331百万円 139.6%
予想比(*) +486百万円 111.5%

総括

- ✓ システム開発、ソフトウェア商品が好調により前期比増収
- ✓ 不採算案件の防止、販管費抑制なども寄与し、計画を上回る利益達成

*本資料における予想比はすべて、前中間決算発表時点の通期業績予想との比較

2. 2008年3月期 決算概況<連結>

- ✓ 不採算案件防止の徹底、外注の抑制により売上総利益率が2.2P向上
- ✓ 販管費の伸びを抑えたことにより、営業利益率6%台に向上、前期比約40%の増益

(百万円)

	08年3月期	前期との比較			中間期予想との比較		
		07年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	77,311	75,171	+2,140	+2.8%	77,441	-130	-0.2%
売上総利益	23,612	21,307	+2,305	+10.8%	—	—	—
売上総利益率	30.5%	28.3%	+2.2p	—	—	—	—
販管費及び一般管理費	18,917	17,943	+974	+5.4%	—	—	—
営業利益	4,694	3,363	+1,331	+39.6%	4,208	+486	+11.5%
営業利益率	6.1%	4.5%	+1.6p	—	5.4%	+0.7p	—
経常利益	4,974	3,619	+1,355	+37.4%	4,279	+695	+16.2%
当期純利益	2,275	1,564	+711	+45.5%	1,909	+366	+19.2%

3. 2008年3月期 決算概況＜単体＞

- ✓ 売上高は前期比4.2%の増収／営業利益は前期比85%の増益
- ✓ 特別損失に子会社株式の評価損を計上したため、当期純利益は未達

(百万円)

	08年3月期	前期との比較			中間期予想との比較		
		07年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	60,871	58,397	+2,474	+4.2%	58,998	+1,873	+3.2%
売上総利益	16,256	14,393	+1,863	+12.9%	—	—	—
売上総利益率	26.7%	24.6%	+2.1p	—	—	—	—
販管費及び一般管理費	12,742	12,500	+242	+1.9%	—	—	—
営業利益	3,513	1,893	+1,620	+85.6%	2,621	+892	+34.0%
営業利益率	5.8%	3.2%	+2.6p	—	4.4%	+1.4p	—
経常利益	4,004	2,320	+1,684	+72.6%	2,967	+1,037	+35.0%
当期純利益	1,529	1,253	+276	+22.0%	1,592	-63	-4.0%

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

7

4-1. 2008年3月期 業種別売上高

金融業

(百万円)

	08年3月期	前期との比較		中間期予想との比較	
		07年3月期	増減率	予想	増減率
連結	24,497	21,187	+15.6%	24,536	-0.2%
単体	16,576	14,136	+17.3%	16,220	+2.2%

- ✓ 複数の大手銀行向けのシステム開発～市場系システム／インターネットバンキングシステム／基幹システム等の構築など～が好調
- ✓ 地域金融機関向け融資業務支援システム「RiskTaker」は新規に4金融機関から受注し、累計ユーザ数は38金融機関

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

8

4-2. 2008年3月期 業種別売上高

製造業

(百万円)

	08年3月期	前期との比較		中間期予想との比較	
		07年3月期	増減率	予想	増減率
連結	28,994	29,198	-0.7%	28,969	+0.1%
単体	22,828	22,016	+3.7%	21,751	+5.0%

- ✓ 設計(CAD)や製品データ管理(PDM)の技術支援が拡大。ライセンスでは3次元CADソフトウェア「NX」が好調／しかし旧CADソフトウェア「I-deas」や一部のCAEソフトウェアのライセンスが伸び悩んだ
- ✓ 基幹システム構築(ERP)、内部統制システム構築に関するコンサルティング、連結会計システム「STRAVIS」好調

4-3. 2008年3月期 業種別売上高

サービス業

(百万円)

	08年3月期	前期との比較		中間期予想との比較	
		07年3月期	増減率	予想	増減率
連結	15,502	17,411	-11.0%	15,274	+1.5%
単体	14,838	16,407	-9.6%	14,573	+1.8%

- ✓ 前期比減収は、前期に主要顧客における大型のシステム開発が完了したことが要因
- ✓ 主要顧客における基幹システムのエンハンス案件および保守が堅調に推移

4-4. 2008年3月期 業種別売上高

流通業他

(百万円)

	08年3月期	前期との比較		中間期予想との比較	
		07年3月期	増減率	予想	増減率
連結	8,316	7,373	+12.8%	8,661	-4.0%
単体	6,626	5,836	+13.5%	6,453	+2.7%

- ✓ 主要顧客のCRMシステム構築やインフラ更改案件等の受注
- ✓ 公共教育機関向けCADソフトウェア等の販売が堅調

5. 2008年3月期 サービス品目別売上高

- ✓ システム開発、ソフトウェア商品が順調

(百万円)

		08年3月期	前期との比較		中間期予想との比較	
			07年3月期	増減率	予想	増減率
システム開発	連結	30,819	29,016	+6.2%	31,008	-0.6%
	単体	23,312	23,126	+0.8%	23,279	+0.1%
ソフトウェア製品	連結	4,403	4,458	-1.2%	5,082	-13.4%
	単体	2,871	2,775	+3.5%	3,056	-6.1%
情報処理・通信サービス	連結	4,476	4,314	+3.8%	4,445	+0.7%
	単体	3,992	3,831	+4.2%	3,946	+1.2%
ソフトウェア商品	連結	30,925	29,793	+3.8%	30,314	+2.0%
	単体	25,720	23,793	+8.1%	24,131	+6.6%
情報機器販売	連結	6,485	7,404	-12.4%	6,421	+1.0%
	単体	4,847	4,761	+1.8%	4,478	+8.2%
その他	連結	200	184	+8.7%	169	+18.3%
	単体	126	108	+16.7%	106	+18.9%
合計	連結	77,311	75,171	+2.8%	77,441	-0.2%
	単体	60,871	58,397	+4.2%	58,998	+3.2%

6. 2008年3月期 ブレイニークス業績

- ✓ ハードウェア、ソフトウェア製品の販売が大幅減
- ✓ 社員の稼働率をあげ外注費を削減したことにより、減益は3%

(百万円)

	08年3月期	前期との比較		
		07年3月期	増減額	増減率
売上高	8,454	9,373	-919	-9.8%
営業利益	653	673	-20	-3.0%
営業利益率	7.7%	7.2%	+0.5p	—
グループ内売上比率	13.7%	11.1%	+2.6p	—
従業員数(人)	371	355	+16	+5.1%



I. 2008年3月期 決算概況

II. 2009年3月期 業績予想

1. 今年度取り組む重要施策について

顧客インサイトの強化

積極的な投資

- ・ 製品開発投資
- ・ データセンター取得

生産性向上

- ・ 開発プロセス標準化(CMMIの活用)
- ・ 不採算案件防止の継続
- ・ オフショア開発の拡大

2. 2009年3月期 業績予想

- ✓ 新中期経営計画の初年度
- ✓ 売上は前期とほぼ同様の伸びを予想も、積極的な投資を行うため減益を見込む

(百万円)

	連結			単体		
	09年3月期予想	08年3月期	増減率	09年3月期予想	08年3月期	増減率
売上高	79,746	77,311	+3.1%	60,903	60,871	+0.1%
営業利益	4,360	4,694	-7.1%	3,659	3,513	+4.2%
営業利益率	5.5%	6.1%	(-0.6p)	6.0%	5.8%	(+0.2p)
経常利益	4,459	4,974	-10.4%	3,981	4,004	-0.6%
経常利益率	5.6%	6.4%	(-0.8p)	6.5%	6.6%	(-0.1p)
当期純利益	2,136	2,275	-6.1%	2,214	1,529	+44.8%
当期純利益率	2.7%	2.9%	(-0.2p)	3.6%	2.5%	(+1.1p)

3. 業種別売上高予想

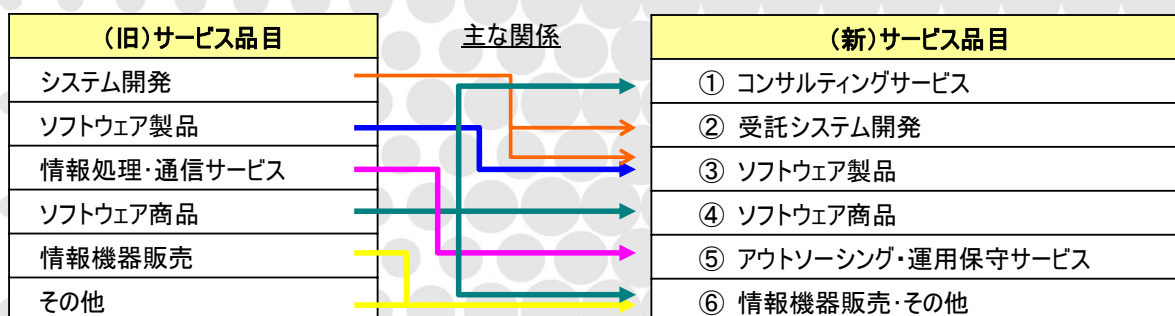
- ✓ すべての業種で売上高の増加を予想

(百万円)

		09年3月期	前期との比較	
			08年3月期	増減率
金融業	連結	25,675	24,497	+4.8%
	単体	16,821	16,576	+1.5%
製造業	連結	29,656	28,994	+2.3%
	単体	22,548	22,828	-1.2%
サービス業	連結	15,942	15,502	+2.8%
	単体	15,154	14,838	+2.1%
流通業	連結	8,471	8,316	+1.9%
	単体	6,378	6,626	-3.7%
合計	連結	79,746	77,311	+3.1%
	単体	60,903	60,871	+0.1%

4-1. (新)サービス品目別売上高予想

当期より、当社サービスの実体や戦略を適正に反映するため、サービス品目体系を再編しました



■変更のポイント

- ✓ 今後戦略的に注力する、「コンサルティングサービス」と「アウトソーシング・運用保守サービス」を独立して管理出来るようにした
- ✓ これまでシステム開発でまとめて処理されていたものを整理し、スクラッチ開発による個別案件型システム開発は「受託システム開発」、ソフトウェア製品に関連するアドオン開発は「ソフトウェア製品」とした。

4-2. (新)サービス品目別売上高予想

(百万円)

		09年3月期	前期との比較	
			08年3月期	増減率
コンサルティングサービス	連結	3,520	3,622	-2.8%
	単体	2,410	2,524	-4.5%
受託システム開発	連結	23,604	24,084	-2.0%
	単体	19,009	19,034	-0.1%
ソフトウェア製品	連結	11,401	9,023	+26.4%
	単体	6,055	5,041	+20.1%
ソフトウェア商品	連結	27,798	26,241	+5.9%
	単体	22,685	22,443	+1.1%
アウトソーシング・運用保守サービス	連結	5,500	5,136	+7.1%
	単体	4,989	4,641	+7.5%
情報機器販売・その他	連結	7,921	9,203	-13.9%
	単体	5,752	7,185	-19.9%
合計	連結	79,746	77,311	+3.1%
	単体	60,903	60,871	+0.1%

5. 2009年3月期上期 業績予想

(百万円)

	連結			単体		
	09年3月期 上期予想	08年3月期 上期	増減率	09年3月期 上期予想	08年3月期 上期	増減率
売上高	35,435	35,012	+1.2%	27,120	27,267	-0.5%
営業利益	509	1,122	-54.6%	606	943	-35.7%
営業利益率	1.4%	3.2%	(-1.8p)	2.2%	3.5%	(-1.3p)
経常利益	568	1,253	-54.7%	775	1,188	-34.8%
経常利益率	1.6%	3.6%	(-2.0p)	2.9%	4.4%	(-1.5p)
当期純利益	93	394	-76.4%	374	588	-36.4%
当期純利益率	0.3%	1.1%	(-0.8p)	1.4%	2.2%	(-0.8p)

6. 業種別売上高予想(上期)

(百万円)

		09年3月期 上期予想	前期との比較	
			08年3月期 上期	増減率
金融業	連結	10,828	10,613	+2.0%
	単体	6,959	6,978	-0.3%
製造業	連結	14,043	13,822	+1.6%
	単体	10,715	10,757	-0.4%
サービス業	連結	7,300	7,266	+0.5%
	単体	6,989	6,939	+0.7%
流通業	連結	3,262	3,309	-1.4%
	単体	2,456	2,591	-5.2%
合計	連結	35,435	35,012	+1.2%
	単体	27,120	27,267	-0.5%

7. サービス品目別売上高予想(上期)

(百万円)

		09年3月期 上期予想	前期との比較	
			08年3月期 上期	増減率
コンサルティングサービス	連結	1,642	1,749	-6.1%
	単体	1,067	1,178	-9.4%
受託システム開発	連結	10,499	10,575	-0.7%
	単体	8,055	8,176	-1.5%
ソフトウェア製品	連結	4,600	3,946	+16.6%
	単体	2,580	2,109	+22.3%
ソフトウェア商品	連結	12,310	12,180	+1.1%
	単体	10,094	10,373	-2.7%
アウトソーシング・運用保守サービス	連結	2,728	2,529	+7.9%
	単体	2,500	2,285	+9.4%
情報機器販売・その他	連結	3,654	4,029	-9.3%
	単体	2,821	3,142	-10.2%
合計	連結	35,435	35,012	+1.2%
	単体	27,120	27,267	-0.5%

第2部

新中期経営計画について

代表取締役社長 最高執行責任者
水野 紘一

1. 新中期経営計画のテーマ

Customer Business Innovator

顧客のビジネスを、顧客とともに革新する。

2. 前中期経営計画(2005～2007年度)総括

iSiD

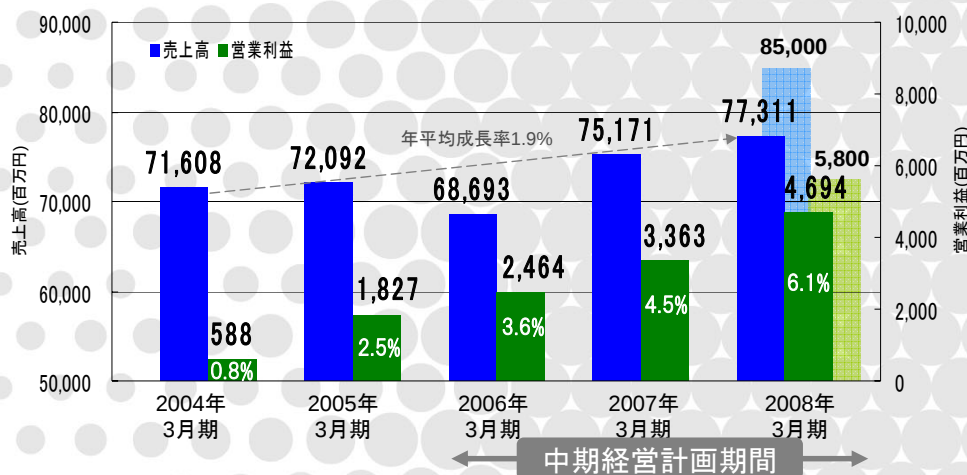
IT Solution Innovator

前中期経営計画目標	結果
1. IT Solution Innovatorの実践 (先進的・高品質なITサービスの提供、 マネジメントの変革・進化)	- 業務プロセスの刷新 - 不採算案件発生防止、プロジェクト管理強化 - 開発プロセス標準化(CMMIレベル3達成) - グループ体制のリストラクチャリング
2. 収益性の回復 (07年度連結営業利益率7%)	- ソフトウェア製・商品拡充、新サービス開始(RiskTaker, STRAVIS, Affinium、On-Demand Workspaces、内部統制コンサル等) - 外注原価抑制・オフショア開発拡大 - 営業利益率 03年度 0.8%→07年度 6.1%
3. 成長路線への復帰 (03年度を基点に07年度までの年平均成長 率4%以上)	- 製造業向けC3P事業が計画通りに拡大せず 03年度から07年度までの年平均成長率 1.9%

2005～2007年度

事業基盤の整備
・再構築

標準化の3年



COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

25

3. 経営環境認識

iSiD

IT Solution Innovator

経営環境認識1. IT市場展望

『堅調な投資継続を予想するが、低価格化等の可能』

- 経済環境の先行きは不透明ながら、システム開発、ソフトウェア分野を含め、全般的に堅調な投資が継続するものと予想。
- システムの保守・運用を外委託する需要も引き続き強いと考える。
- 一方、低コストのオフショアベンダーの直接取引拡大やSaaS型ソリューションの進展等により、顧客の経営課題に直結する戦略案件以外は、低価格化やSaaS利用への移行などが進行する可能性がある。

経営環境認識2. 主要顧客市場動向

『グローバルな競争環境下で進化を追求』

製造業	- モノづくりのライン一本化(「一気通貫」)ニーズが高まり、部分最適でなく、プロセス全体の最適化が課題。 - 国際競争力強化に向けた積極的な海外展開と、グローバル経営に向けた経営基盤の整備が進む。 - 効率化だけでなく、顧客ロイヤリティ向上、収益向上、シェア拡大に対するITの貢献が求められる。
金融業	- 日々開発され幅が広がる市場系金融商品への対応。 - 企業からの高度なファイナンス機能提供の要請。 - 金融商品の製販分離が進み、リテール強化の流れが明確化。 - 国際化、外資・異業種との競争激化。
サービス・流通業他	- 急速に進むメディアのデジタル化への対応。 - 複雑化・高度化するマーケティング・コミュニケーションへの対応。
クロスインダストリー	- ステークホルダーからのコンプライアンス遵守や収益力の更なる向上等の要請、法制度による内部統制や四半期決算対応等は、企業の連結経営に一層の高度化を促す。 - 就業・雇用環境の変化への対応や戦略的人材育成・活用等、人的リソース管理の重要性が増す。

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

26

4. 中期経営目標

中期経営目標

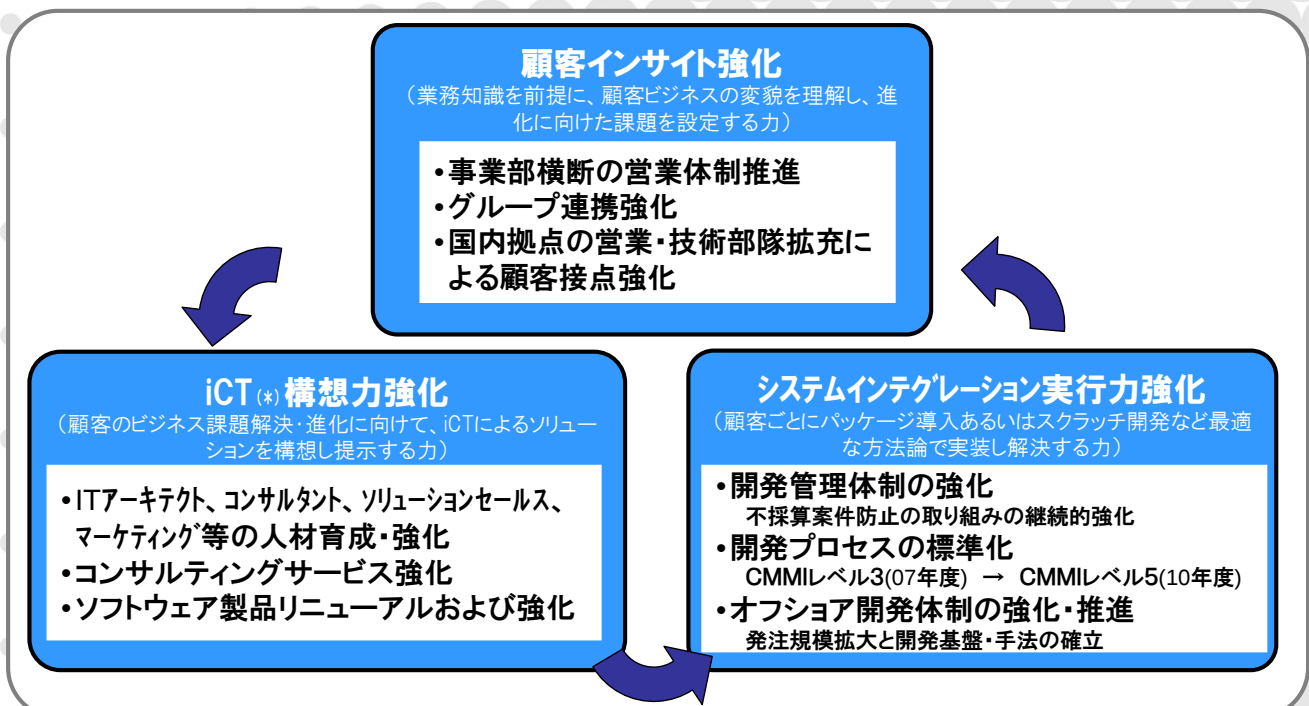
顧客の進化を加速するソリューションの創出

事業基盤の継続的進化

2010年度業績指標

連結売上高:880億円 連結営業利益率:7% ROE:8%

5. 顧客の進化を加速するソリューションの創出 「鍵となる3つの力」の強化



(*)iCT・・・「企業の全ての業務プロセスで発生する情報の流通・蓄積・変換等を、コミュニケーション強化の視点で最適化する技術」としてITを捉えるiSiDグループの視点。
iCTは、information Communication Technologyの頭文字。

6. 顧客の進化を加速するソリューションの創出 製造業向けソリューションビジネス

顧客動向

- ・モノづくりのライン一本化(「一気通貫」)ニーズが高まり、部分最適でなく、プロセス全体の最適化が課題。
- ・国際競争力強化に向けた積極的な海外展開と、グローバル経営に向けた経営基盤の整備が進む。
- ・効率化だけでなく、顧客ロイヤリティ向上、収益向上、シェア拡大に対するITの貢献が求められる。

1

ISIDグループ連携による、企業全体のプロセスの最適化提案と実施。マーケティング+ C3P + ERP、会計その他を一気通貫で実現。(IM3Cの実現)

アイエムスリーシー

IM3C (Integrated Marketing – Manufacturing – Management Communication)
マーケティング、設計開発生産、ERP(マネジメント)の各プロセスにおける情報の流れを、コミュニケーションを最適化する形で一気通貫に統合するISIDグループのソリューションビジョン

2

設計開発分野における、業務プロセス改革コンサルティングやエンジニアリングコンサルティングに注力。

3

製造業の海外拠点に対し、C3Pサポートから生産・販売管理システムサポートまでサービスを拡充。

(*)C3P...CAD/CAM/CAE/PLM

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

29

7. 顧客の進化を加速するソリューションの創出 金融業向けソリューションビジネス

顧客動向

- ・日々開発され幅が広がる市場系金融商品への対応
- ・企業からの高度なファイナンス機能提供の要請
- ・金融商品の製販分離が進み、リテール強化の流れが明確化。
- ・国際化、外資・異業種との競争激化。

1

テクノロジーにより、金融ビジネスが変化する4領域に集中。

市場系

幅広い金融商品に対応したソリューションの提供

コーポレート・ファイナンス

統合融資ソリューションRiskTakerを主軸に、高度化するファイナンス業務に対応したソリューションの提供

リテール・コミュニケーション

ネット・バンキング、ネット・トレードでの実績を活かし、高付加価値化、カスタマーエクスペリエンスにフォーカス。

グローバルビジネス

メガバンクおよび地銀の海外戦略を支援。海外店システムにおけるリーディングポジションを維持。

2

顧客セグメントは、金融機関に加え、金融業務や金融サービスを実施する異業種企業まで拡大する。

COPYRIGHT 2008 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

30

8. 顧客の進化を加速するソリューションの創出 サービス・流通その他業種向けソリューションビジネス

iSiD

IT Solution Innovator

顧客動向

- ・ 急速に進むメディアのデジタル化への対応。
- ・ 複雑化・高度化するマーケティング・コミュニケーションへの対応。

1 電通グループのテクノロジーパートナーとしてデジタル化に対応。

2 放送・通信融合の分野におけるソリューションの研究開発と事業化の推進。

3 流通業・金融業等に対するマーケティングソリューションの提供推進。
消費者との双方向コミュニケーションと業務プロセスの連携の実現。

9. 顧客の進化を加速するソリューションの創出 クロスインダストリーソリューションビジネス

iSiD

IT Solution Innovator

顧客動向

- ・ ステークホルダーからのコンプライアンス遵守や収益力の更なる向上等の要請、法制度による内部統制や四半期決算対応等は、企業の連結経営に一層の高度化を促す。
- ・ 就業・雇用環境の変化への対応や戦略的人材育成・活用等、人的リソース管理の重要性が増す。

企業の連結経営の高度化を支援するソリューション群の充実

1 連結会計パッケージシステム「STRAVIS」のリニューアルと強化

2 人事管理パッケージシステム「POSITIVE」のリニューアルと強化

3 経営の見える化・効率化を実現する経営管理ソリューションの拡充

10. 事業基盤の継続的進化

1 ビジネスプロセスの標準化・効率化

・新基幹システム構築 2009年4月稼動開始

2 グループ内人事制度の整備および人材育成の促進

3 管理間接部門の効率化

4 グループ体制の全体最適化

5 内部統制強化によるガバナンスのさらなる進化

11. 投資および運用保守サービス強化について

投資について

- ・新規ソリューション開発など将来に向けた事業拡大と事業基盤整備を目的として、積極的投資を実行（事業投資、社内インフラ投資とも）。
- ・2008年度は、ソフトウェア製品の新規/追加機能開発、開発基盤技術調査等に加え、データセンター自社化や社内基幹システム開発を予定。

【連結】08-10年度累計投資計画（百万円）	
事業投資（経費系・資産系合計）	10,550
社内インフラ投資	3,524
合計	14,074

運用保守サービスの強化について

- ・コンサルティングから運用までソリューション全体を支援するサービス体制を強化する。
- ・安定収益基盤の拡充を図る。
- ・2008年4月、「新規事業開発室」を設置し、運用保守サービス事業化を推進。

12. 2010年度業績目標

<単位:百万円、人>

	2007年度	2010年度
連結売上高	77,311	88,000 年平均成長率:4.5%
営業利益率	6.1%	7.0%
ROE	7.0%	8.0%
人員数(期中平均)	2,233	2,500

13. 新しいステージに向けて

2005～2007年度
事業基盤の整備
・再構築
標準化の3年



2008～2010年度

顧客の進化を加速する
ソリューションの創出

事業基盤の継続的進化

積極的投資

保守運用サービス強化

個性化の3年
＝強いiSiDグループの実現＝

注) この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。
従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。